

レジメン名	M-VACb
対象疾患名	尿路上皮がん
1クールの日数	28日
催吐性リスク	高度
その他注意事項	

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食	50mL	点滴静注	5分	day 1, 15, 22
2	生食 メソトレキセート (MTX)注	250mL 30mg/m ²		1時間	
3	生食	50mL		5分	
4	グラニセトロン注 デキサート注	1mg 50mL 9.9mg		15分	day 2
5	生食 カルボプラチン (CBDCA)注	250mL AUC = 5		1時間	
6	生食 エクザール(BVL)注	50mL 3mg/m ²		5分	day 2, 15, 22
7	生食 ピノルビン(THP)注	50mL 30mg/m ²		5分	day 2
8	生食	50mL		5分	
9	デカドロン錠	4mg 2T/朝昼	内服	投与翌日	day 3, 4

【主な副作用】

悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、口内炎、骨髄抑制、腎障害、脱毛、末梢神経障害、心障害

【その他注意事項】

- MTX: PPI等薬物相互作用のある薬剤多いため注意。副作用発現時は、ホリナートカルシウムを1回6~12mgを6時間間隔で4回筋注する。尿を酸性化する薬剤(フロセミド等)の使用は避ける。
- VBL: マクロライド系抗菌薬、アゾール系抗真菌薬、フェニトインと薬物相互作用あり。
- THP: 心毒性があるため、定期的に心機能の評価をする。総投与量が950mg/m²を超えると、うっ血性心不全を発現しやすくなる。